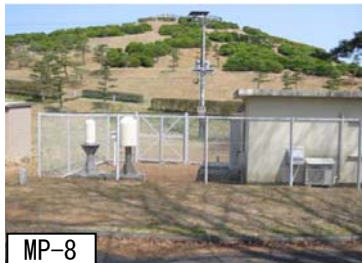


モニタリングポスト周辺環境改善対策の実施について

(現状) 森林、地表面からの影響で空間線量率が上昇(事故前の100~10,000倍)
(方向性) 異常放出検知精度向上を目的として対策を実施
(対策) 空間線量率10 μ Gy/hを目標に、森林伐採・表土除去、遮へい壁設置を実施

1. モニタリングポスト(MP)の現状



<空間線量率>

- ・MP-3~7は周囲を森林に囲まれており、森林からの影響が大きい
- ・MP-2, 8は地表からの影響が大きい(MP-8は近傍の展望台斜面の影響大)

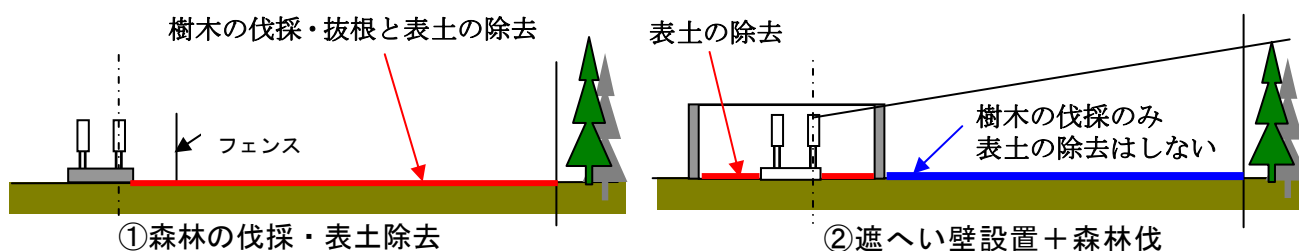
2. 環境改善目標

- ・異常な放出の監視向上を目的とし、10 μ Gy/h以下を目標

(理由) 降雨により指示値は10%程度変動する。10 μ Gy/hであれば1 μ Gy/h程度の変動幅を超えて異常放出を検出できる

3. 環境改善対策

- ①周囲の放射線量が低く表土の除去が広範囲とならない箇所は「表土等除去対策」を実施
- ②周囲の放射線量が高く対策が広範囲となる箇所は、施設からの異常な放出の監視を主眼に「遮へい壁」を設置



4. 工期

- ・工期：2012年2月~4月 (着工：2012年2月10日)

■ 表土除去 ■ 森林伐採 ■ 遮へい壁設置

モニタリングポスト	2月		3月		4月	
	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬
MP-2			■	■		
MP-3				■	■	
MP-4					■	■
MP-5			■	■		
MP-6	■		■	■	■	
MP-7		■	■		■	
MP-8				■		■

<参考> 当社ホームページでの紹介

※発電所敷地境界の空間線量率を測定しているモニタリングポスト(MP)のうち、モニタリングポスト2~8につきましては、周囲の森林や地表面に蓄積された放射性物質により、周辺の放射線量が高い状況にあります。これらによる影響を低減させ、より正確な空間線量率の測定が出来るようにすることを目的に、平成24年2月10日~4月末までの予定で、環境改善(森林の伐採、表土の除去、遮へい壁の設置)の工事を実施しています。

これに伴い、工事期間中は、MPの値が変動する可能性があります。